磐城新聞　（十四日夕刊）

休刊 大祭日翌日・第三日曜
定價 一部二錢　一ケ月六十錢　郵税十五錢
廣告料 壹行六十錢　指定廿錢増
編輯兼發行印刷人 鹽沼鐵郎
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五大番

# 平の映畫界

## 「撃滅と進軍」

司馬認

「撃滅」と「進軍」は軍事映畫である。就中「撃滅」は大衆の感情に直接衝動を與へるに最も重要な現實性を充分に持つて居る。

此の現實性は「進軍」の場合的、戰爭映畫に比して、より多くの大衆——愛國的教養によつて完全に欺瞞されて居る所の善良な小市民及勞働者農民を昂奮せしめ煽動する點に於てまさしく力が大である。

之等の映畫の上映による社會的影響は何か。帝國主義戰爭讃美、所謂「軍事思想」の普及に外ならないのだ。そして背後に潜在して居る全被壓迫階級に對する支配階級のカイライの手によつてなされた陰謀の表れなのだ。之を無智な營利一方の常設館が、唯營利的な目的のみによつて上映する時、それが無意識にせよ意識にせよ徹底的に我々は、之等の映畫を映に絶對反對しなければならぬ、更に、大衆を啓蒙する事によつて、この種の映畫を斷然觀覽せぬといふ、即ちボイコットする看客を作りなどして上映反對に力をそゝがねばならぬ。もし、之れが大衆がすつかり目覺めた曉に於げる上映なれば、かゝる反對運動の必要もないのであるが、現在の情勢にある以上、我々は上映反對を宣言せねばならぬのである。

ましてや、昨年度中「撃滅」の製作に小笠原明峯等共同監督の名を列した、内田吐夢の作品で、現代映畫に始めてイデオロギーを盛つたと宣傳された「生ける人形」を遂上映しなかつた。その理由は仄聞する處によれば此の地方の人達には不向きだ、と云ふ營利の外に何物もない常設館の無理解な犧牲にされて、しまつたと云ふ事だ。こう云つた樣な前例がある事は、來るべき「撃滅」「進軍」等の上映が一人常設館のみの罪ではないにしろ、我々は之を怕み且つ糺彈するものである!!

## 一ファンの斷片的な感想

古谷末男

「映畫を見て居て欠伸したい事がありますか」と聞かれたら、僕は即座に「しよつ中でも」と答へるだらう。欠伸位ならまだいゝかも知れない。兎もすれば言ひ知れぬ嫌惡と憤激とを感じる事すらある。

觀た後で非常に疲勞を覺えさせられる映畫がある。力の籠つたと謂ふ所の「特作」物などを觀た後では屹度言ひ得られぬ程の疲れを感じる。疲れる事を恐れては吾々は映畫を見る事が出來ないのだ。

よし疲れる事など恐れないにしても、後でどうにも消化し得ない殘渣を感じる。たまらなく不愉快な場合が多い。これは多くは映畫製作者がその企業的必要から映畫を無理にでつち上げるからである。

無理押しの道德、でたらめの宗教、いゝ加減な觀念からした「惡い映畫」の如何に多きことよ。僕等はさうした映畫に對していつも仰へ難い怒りをさへ感じる——映畫は大衆のものである——この言葉の持つ概念は正しい。然しそれは餘りにも大ざつぱで餘りに概念的である。そんな事は改めて言ふ必要はないのだ。

試みに日本の映畫の歩んで來た道を振返つて見よ! 映畫が果して「民衆のもの」であつたかどうか?

人類屠殺の「勇壯」にして悲惨なるミリタリズム映畫を見よ。

妥協、協調を强要する「平和」主義者の僞瞞映畫を見よ。

個性を蹂躙して、犧牲を强ふるマゲ物の劍戟映畫を見よ。更に轉じて有閑階級の「變面白くもない」生活を謳歌した戀愛映畫を見よ。

思想を去勢された學生の「活潑」なスポーツ映畫を見よ。たあいのない感傷を唆る小唄映畫を見よ

あんなに遠慮深く言つたらさて過去の日本映畫に飢ゑたる民衆のよき糧となつたものがあつたらうか。それらの大部分は「僞瞞」それでなければ甘美なる「痲痺劑」の役目を果し以外のなんでもなかつた。

僕等は近い將來に於て本當に自分達のものである映畫を持たねばならない。その機運が、斷片的にではあるが刻々切迫しつゝあるのは無限の喜びである。民衆の初質なる要求を酵母とする映畫。張り切つた緊張を注しなく運り合ふ腕と腕と待望は蓋し無限である

然し現下の檢閲制度を考へると暗然たらざるを得ない。一つの盛り上らうとする勢力の前に、檢閲の鋏は遠慮會釋なく活躍してゐる。この制度が一種の目隠しの役目を持つて居る限りこの事實は否みがたい。檢閲制度に對しては全藝術家の一致からなる熾烈な抗議運動と、製作方面に於ける巧妙なる戰術が必要である。

「巧妙なる戰術」それは目覺めたるシネアストに與へられた新しい課題だ。この課題に優秀なる解答を投げた時こそ、そこに新しいシネアストの出發がある。道は遠くして近い。

※…學生三代記…※

…來週マキノの監督、技師總出動オールスターキャスト。天保時代、明治時代。昭和時代の三篇に出來て居る「天保時代」は寺小屋に於ける喜怒哀樂諸相を、輕妙に「明治時代」は書生道華かなりし頃の法律書生を主人公に牛肉屋、銘酒屋、矢場寄席等明治文化央の多角な色彩を、次ぐ「昭和時代」はスポーツとシネマと獵奇と現代學生生活をレヴュー式に描破した作（有樂座）

# 詩壇

## 蒼空

失名

ほんとにまあ澄いこんだ
——（俺の心はこうつぶやく）
朝陽が當つて赫々と燃ゑ立つた彼方の山から
遊紫に凍てついた此方の山の天邊まで、
ほんとに素的なまるこい瑠璃色の水晶壁だ
——底がない
何處まで高いんだ
ほんとにはお及びもねいこんだ（俺の心は復こうつぶやく）。
透明だ そして纖細だ
エーテルの波動がスイ/\と
俺の肉細胞に滲みて行くよ
鳥が鳴く
（ピピシャツ）
北風が俺の顔へ寒い息をへシかけて行きやがつた
——とつこい俺の稲穂拾ひに來なんだい

## 田野の春

さぶらう

銀白の雪に
掩はれた吾妻の嶺
今は——
遠く霞に消ね
たゞ近くの山が
新緑に包まれた姿を見てゐる
まばらな農家は
新緑にうつもれて
わつかに屋根を見せてるのみ
遠き近きの茶の花畠は
一面畠は黄にうずめ
早きレンゲは
田野を染む
丘に若草は
なよ/\と風に戯むる
水田に蛙が
春を叫んで居る
小鳥がピイ/\
二聲三聲鳴いて
眞一文字に春日を掠めた
農夫が一鍬/\汗して
田野を耕やすにつれて
一列二列
レンゲ列を作つた

## 夕燒

坂上砂夫

お燃ゆる焔の舞臺で
今や強くも壯嚴に奏される
天地萬象の管絃と合唱との
英雄的一大交響樂!
この森嚴とこの華麗なる
雄大の旋律に迎へられて
赫々たる大沈默に包む太陽は
無言に赤く赤く沈まうとしてゐる
おゝ偉大なる宇宙の父よ
あなたの君臨せる尊い一日は
あなたの灼熱とあなたの灼熱とに
今美しく清められて
靜かに/\終らうとしてゐるのだ
あゝ地上の生活が持つ惱も苦痛も
あなたの偉大なる愛と光輝に
燦爛の歡喜へ向けられ
明日への希望と光明に躍つてる
おゝ偉大なる宇宙の父よ
あの焦げた狂亂せる夕燒は
あなたの美しい沒落を惜んでゐる

※明日の吉凶※

五月十六日　舊暦十九日　新暦十五日

▲一白 順調には向へども相談事は不調と知るべし東と坤と艮が吉▲二黒 一家よく氣を揃へて圓滿裡に仕事の運ぶ日巽と坤と辛が吉▲三碧 内外協調を保ら健全に進めば出世の途開く乾と乙と壬が吉▲四綠 苦を通り抜けて追ひ追ひ吉運に向ふ日たり乾と艮と乙が吉▲五黄 緩急その宜しきを得ば意外の發展を見 日 東と西・丙が吉▲六白 定業以外の事業にはなるべく手控へを要す丙と乙と艮が吉▲七赤 川に臨み舟覆ふ如く進路の塞がり勝の日巽と坤と辛が吉▲八白 氣下締めて勵めば物事遂達すべき吉日丙と東と西が吉▲九紫 迷ふ事あらば長者の差圖に依るが安全なり丙と巽と西が吉

# 講談 幕末奇傑 高山彦九郎 (162)

中西洋々作　市施長春畫

絶望へ（四）

「それでは、先生!」聲ははづみ、目はくらみさうに激情を覺ね乍ら、彦九郎は向も追及しました

「先生は、かの山形大貳、竹内式部の※變や國家の逆賊と仰せられまするか」

「如何にも!」竹山はしかも悠揚せまらぬ態度で云ふのでした。

「つまりは亂臣賊子、闇齋の學問にあてられて、中興の夢をみたのでござるな」とかいつてはまた彦九郎の胸をはりさくような激越な言葉を吐くのでした

「成程、闇齋も古今に二なき大儒には相違ござらぬ。が、彼の說くところはいさゝか常規を逸したきらひがござるな。つまりは激越にすぎた論風でござる。浮華輕佻の風をさけて實行を主主義とした、その主義もよう分り申すが。それも盲醉した式部、大貳ははそれ御覽の通りの大したことを企て申したのぢや。竹内式部、蹟獻遺書を懷中して、公卿殿上人のたゞ數に出入りしたをうして肩を張り臂を張つて天下を闊行なし世に泡して、天下改造のことを容喙したあげくの果てには御承知のように、公家も皮にふれてその終りを後世まで恥づかしめられたのぢや。まことに公卿殿上にとつて避くべきは闇齋の學風でござる。拙者、如何ふのことあるともこの闇齋並びに荻生一派の學問は今校の中にいれない覺悟でござる」

「わゝ!」彦九郎はいきなり絶壁から深みに突き落された程に驚きました

信頼を裏切られた哀しみやそれはさういはるべきものではないかも知れない竹山は彦九郎、性質をよく知つてゐたその心に胚胎してゐる思想をもよく知つてゐて。知つてる乍らしかもよき道具として自分仕事の爲に自分の目的達成の爲に彦九郎を使つたのです。

しかも、彦九郎は竹山の心を事前に讀むことは出來なかつたのです。

長の年月、學校建設の爲に骨折つた彦九郎の勞苦も今にして思へばみな他人の爲に自分を犧牲にした、むなしい仕事にすぎなかつたのです。何の効果もない。

他人の庭に咲く花の爲に、探梅の勞をとつたにも似た心持ち。そのむなしい自分の勞苦を、今始めて知つた彦九郎の心嘆きはどんなだつたらうか

挨拶もそこ/\に、彼は竹山の前を、いや混沌社の町をいや大阪の街をかへして、京への歸途につきました。が、深い絶望の爲しみは、容易に盡きさうもありません。

いつもは、盡忠の誓ひを新たにしつゝ拜した楠公の墳墓、櫻井の驛に至つても今は悲しい亡命者のそれに似た心もち、彦九郎はその松の根方にくづ折れていつまでも/\泣きたをれてをりました

楠公忠誠の御魂にはさば彦九郎が愚を笑ひ給へ。幕府走狗 儒者ばらを師と尊んだ彦九郎が不明を笑はさせたまへ—

よゝと泣き折れた口からもれる赤愼の言葉のいたましさ。

折から、落ちゆく西の陽は血のように赤く彦九郎の泣顏を照しつゞけて居りました

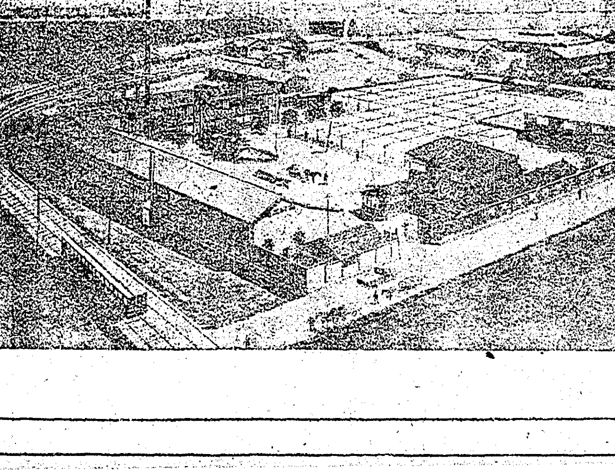
ハムよりうまい
鹽豚販賣
田町 三三屋

絶好のチャンス來る
貳拾年以來未曾有の
蒲團綿大暴落!!

弊工場は貳拾年來の經營と實驗とに依り未だ且て如斯暴落の價格を見ず畢竟對支爲替に於る銀の暴落の結果と察せらるゝに付茲に誠意を以て各位に蒲團綿の御買上げを推奬する所以であります。

左記の特價にて御願致します
一、正壹貫目（拾枚打荷造に付）金貳圓九拾錢
一、正九百目（同）金貳圓七拾錢
一、正八百目（同）金貳圓五拾錢

●御注文の際は前金又は代金引換に願度代金引換の節は總代金の三割御郵送被下度候
右は工場渡し値段に付運賃及び荷造費はお客樣にて御負担の事に願上候（運賃は御地迄拾錢位の豫定に有之候）



東京市外下落合三十五番地
指田製綿工場
電話番號 大塚二三七番
振替口座 東京三六一八〇番
取引銀行 川崎第百銀行池袋支店

廣告

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟釀
平電話七五二

吉田眼科醫院

# 問題の石城民政黨倶樂部 競賣開始決定
## 吉田氏への債權者から申請 掌を打つて喜ぶ野崎派

石城民政黨の部會倶樂部の建物共有保存登記問題は紛糾を極めその後野崎派では若松萩原派の登記申請者三十二名に對し橫領並びに虛僞の登記申請なりとし告訴を突き付ける準備を進めてゐたが突如同倶樂部建物の共有者三十二名の一人である平町會議員吉田五平氏に三百餘圓の債權を有する茨城縣多賀郡高萩町上田長一氏が水戸市橋本正美辯護士を代理人として平町南町の民政倶樂部建物見積り三千二百圓中債務者吉田五平氏の持分見積り百圓に對し平區裁判所に强制競賣を申請即日競賣開始と決定し十二日共有者三十一名に對し競賣開始の正式通知をしたが近日中に部會倶樂部の競賣公告が執行されるのである

### 部會では 異議申立
#### 萩原幹事長談

民政部會倶樂部建物の競賣決定を通知された、萩原氏等共有登記申請者卅二名は行政競賣の異議申立しをなしたが幹部長萩原氏は語る

倶樂部が競賣に決定されたことは事實で是れには例の手が動いたことは勿論判つて居る倶樂部が登記申請をしたからとて共有登記者三十二名の共有物にする意思はなく保存する爲め各町村から二三名宛の代表者を選んでやつたことだから登記申請の際三十二名に前記の旨を通じたので決して問題になるやうなことはないが吉田君の負債の爲め斯んな問題を起したので部會は直ちに異議申立をなした

### 手を打つて 大喜び
#### 漆畑氏の言分

右につき一方野崎派の總大將漆畑元吉氏は

困つたことだつまらぬ登記等するから倶樂部の競賣と云ふ問題が起つたが共有者だと云ふ三十二名の中僅か三名を除いた二十九名全部が相當の負債を有して居るから是れを導火線に債權者が同じやうな手段で行政督促をするやうになるであらう云々

## 次は小名濱
#### 縣下小學校長會

縣下小學校長會第二日は十三日午前十時から梁川小學校に開き建議その他を協議し正午散會した尙明年の開催地に石城郡小名濱町と決定した

# 議員からの强請で 平町會けふ開會
## 兩者の感情が惡化し 議論沸騰せん

平町當局は今年度四月以來未だ一度も町會を召集せず土木委員の改選初め第二小學校通學道路新設に係る豫算追加其の他幾多の案件を重つてゐるので町會を開かぬのは不都合であるとの理由で町議靑沼錄太郎氏外十九名から町會召集の請求書を當局に突き付けたことは本紙既報の如くであるが町當局では之れが爲め急施町會召集の準備を取り繼の『十四日午後一時より開會すべく昨十三日午後一時頃各議員に通知を發したが然かも深夜中翌日召集を通知するは不都合であるとの理由旁々町當局と議員との間に感情問題となり爲めに今十四日の町會は可成り複雜した議論が出るらしく注目を惹いてゐるが本稿締切りまでには開會に至らない因に本日町會の提出議案は左の如し

一、土木委員改選の件
一、學務委員補欠選擧の件
一、平町上水道起債運動の經過報告
一、昭和四年度水道未拂の件　以上

# 繰延の築港工費へ 約束の寄附は出來ぬ
## 七千圓を二千五百圓に 小名濱町の決議

小名濱港修築に對する地元寄附金は昭和五年度より七ケ年繼續で最終年は八千圓その他は七千圓づゝときまつて縣でも豫算に計上してあるが、小名濱町では本年度二千五百圓の寄附しか豫算に計上せず、縣に泣きついて來たか縣でも今度減額は困ると言つて町に追加豫算を組ましても七千圓の寄附をなさしめる意向であらこの寄附金出し澁りは修築工事の繰延と緊縮の手强節に對するしつぺ返しとも見られるが町當局は語る

小名濱港修築に對する寄附金は現在町民のみが負く負擔することは困る、やはりこれは修築によつてあとから續々殖ゑる町民にも均等に及ぼしたい從つて工事が繰延を見、今日では寄附額もやはりそれに比例して少くして欲しいのである

## 平町水道へ 三萬五千圓
### 追加貸付決定

内務省では四年度の地方貸付貸金追加として平町の上水道に對し三萬五千圓（申請額十萬圓）を貸付けることに決定し十三日指令を發した

## 石城の米價
### 穀檢所の調査

縣下各地に於ける現在の米價市況は縣穀物檢査所の調査に依ると石當り平均値段產米二十三圓三十五錢で前旬より七錢高移出玄二十五圓五十七錢で六錢高移出白米二十八圓五十錢で二錢安であつた

## 生卵を驛賣
### 石城の副業養鷄

石城郡下の養鷄事業は米麥價の低落並に繭價の暴落の影響等から二三年この方長足の發展を見てゐるが殊に勿來の模範組合の擴張により著しきものあるので郡農會並に郡駐在廣本技手等は鷄卵の販路につき種々考究中であるが先づ新しい試みとして平驛より生卵として旅客に賣捌く方法を講ずべく着々調査を進めつゝあり近く驛長の手を經て主務省に手續きをなす筈で非常に注目されてゐるか生卵を驛で販賣するのは全國にもない事であり相當有利な手段として實現を期待されてゐる

## 稻の害虫
### 石城郡下に 今年殊に多い

石城郡下各農村は今年は氣候の關係上害虫、螟虫が非常に多いから各農家では是等蟲害を除く爲め田植二週間程前なら二三回三日前なら必ず一回は除蟲方法を講ずべきで右に付し石城郡駐在縣農林技師荒木氏は『一番良い除蟲法は田植一週間位前に苗代の水を全部落して流酸ニコチン八百倍したものに石鹸水を加へるか又はウエノトロに石鹸水を加へて良く攪拌したものを全面へ平均に散付するのが除蟲法として一番である』

## 星炭礦半穩
### けふから休山

石城郡川部村大字三澤星利英氏の經營になる星炭礦（從業員十五名）では十四日から休山することになりその旨十三日縣特高課に報告した、休山の理由は礦脈がつきたといふにあるが實際は營業不振に祟られた結果であると云はれてゐる。尙ほ會社側では、休山中も從業員にも生活費だけは支給することになつたので別段不穩の形勢はない

### 平魚市場總會

平魚市場總會　平魚市場では二十五日午前九から同市場において總會を開催し收支豫算その他を協議する筈

# 石城繭出廻最盛
## 明後十六七日頃に 各市場の高况

石城郡四倉、植田、勿來の三繭市場は開市以來既に一萬五千貫の出荷あり最高白四圓黄三圓七八十錢安値三圓四五十錢黄三圓十錢位十二日には白三十圓黄三十二掛けで一般に品質良く氣配は良好であるが同郡下は十六七日頃が最盛期である

### 植田繭市場

植田繭市場　そろ〳〵市場に活氣を見せ再二日中に出廻最盛期に入らんとして居るが十三日午前の取引現狀況は出廻三百五十貫白繭のみ口數四十五口値段最高四十二圓三十錢、最低三十五圓七錢、買馴三十八圓、掛目三十六掛であつた尙十二日午前午後の取引は出廻五百七十七貫三十九口にし最高は十圓、最低二十三圓五十錢、買馴三十七圓で漸次小勝の氣配を見せしめる

### 勿來繭市場

勿來繭市場　十三日勿來繭市場總出荷は一千百十一貫白繭高値四圓十二錢安値三圓四十八錢買馴れ三圓七十四錢黄繭高値三圓九十四錢安値三圓三十四錢買馴は三圓六十六錢掛け三九であつた

### 四倉繭市場
#### 十三日の商况

石城郡四倉繭市場の十三日第四日目の繭相場は次の如し總貫數白三、二九五貫黄二九〇貫計三五八五貫最高白三九圓八〇黄三七圓二〇低白三八圓四〇黄三六圓〇〇累計一四六二八貫

# 愈々あすに迫る 關東北庭球爭覇戰
## 磐中コートに技を競ふ 出場チーム百組

磐城軟球協會主催第三回關東北庭球大會優勝旗爭奪戰は既報の如く愈々明十五日午前八時より平町磐中ＡＢコートに於て開くことゝなつたが東京鐵道本省を初め土浦、仙臺その他撰り抜きの强チーム出場約百組に達する筈で目覺ましい一大接戰が演せられるであらうとファンの血を湧かしてゐるが同會々長に阿部政右エ門氏を推戴したと

# 理髪業大會
## 平町に開く
### 議案その他決定

平町に於て十七日開かれる本縣理髪組合聯合會役員會並に第四回總會に際して提出される議案及び協議事項は左の如くである

▲議案

一、庶務報告
二、役員會經過報告
三、昨年度歲入歲出決算
四、本年度豫算說明

▲協會事項（南部提出）

理髪料金査定の件外三項

（東部提出）營業者死亡後相續すべき無資格者に對し有資格迄出來得る樣其筋に請願の件外六項

# 劍道の流儀に就て
### 本山萩丹

我が國で劍道の行はれ始めたのは神代時代鹿島、香取の二柱の神からと傳へられてゐるが、完成されたのは德川時代である。戰鬪時代は、たゞ勝つことを目的としてゐたが、德川の世となつて天下が統一され、やうやく諸事整然として生活に餘裕が出來るやうになつて劍道も平和時代の劍道となつた、そして從來の樣に勝負が第一とするより型等に重きを置き正々堂々たる試合そのものを尊重する傾向になつた、こゝに於て優れた各劍士が續々輩出し各々自流の眞價を世間に高める事に專念し、同時に流祖たることを主なる名譽とした、爲に徒らに流派が多くなつて、その宣傳に汲々として、肝腎の實力は第二問題となつたので、かへつて劍道は衰微のかたちとなつた、幕末になつて內外多事となり、再び勃興して劍術萬能時代を出現し、實力ないものは自然淘汰され、代表的人物ばかり殘り、その名は今日迄も謳はれてゐる二刀流の流祖として一頭地を拔いてゐるのは宮本武藏である、彼は一生に命にかゝはる大試合を六十餘度したが、いづれも若手の時で、三十をすぎてからは一度もなかつた、彼も、はじめは『勝つ』といふ事のみにとらはれてゐたが、後年は參禪して精神鍛錬した結果その技も圓滿なる境に到達したのである、幕末三名人の一人千葉周作は武藏に師事したが、[illegible]り若年の頃はとかく非難の聲が高かつたが、これ又後年に到り完全の域に達したことが窺はれ、流派は北辰一刀流で神道無念流、直心影流と共に當時の三大流派であつた心形刀流は伊庭軍兵、鏡心明智流は桃井春藏、一刀流には各分派あり淺利又七郎は小野派一刀流、山岡鐵舟は無刀流を稱へた、神道無念流は齋藤彌九郎、直心影流は男谷信友。

この流は中興の祖と云はれる高弟の柳原健吉が明治に至るまでこの流を傳へた、しかし明治となつてからは日を逐うて劍道は凋落して終つた、直接原因は勿論廢刀令にあるが、世人はやうやく智的に目覺め、所謂文化の光に浴し、今や劍道など問題にするのは、時代錯誤の感を抱いた爲であらう、しかし、それも皮相の觀察で元來劍道修行は太刀打するのが眼目ではなくその眞髓は精神の鍛錬であることはいふまでもない。そこで常今の人達は再び劍道を禮讃し、折から流行の大衆文學と結びついて劍にねゝがに所謂チャンバラ時代を出現し尖鋭文化の魁を承るジャズ相踊りするといふ珍現象さへ來し、一方飽くまで嚴大なる歩みを續ける人達は畏くも天覽仕合の光榮にまで浴した武といふ字は戈を止めるといふ意味に劍道の精神もまた實にこゝに存するもので、劍を收めて劍を用ひる機會を少くすることが、その極意である。要するに劍道に技ではなくして心、劍道を修行するといふことは、とりもなほさず、精神そのものゝ鍛錬に外ならない

# 平町外の地下採掘 願ひ悉く却下
## 公安を害する理由で 鑛山局へ返答

石城郡磐城炭礦では同郡平町外飯野、内郷、鹿島の三ケ村地内の石炭採掘願を昨年十月中旬鑛山局に提出したがこの許可に先だつて同局では縣へ對し該區域内にある町村の公益關係その他の調査方を依賴して來たので縣保安課で各町村に對し意見を徴した結果

一、出願地は大体に於て市街地附近又は耕地區域內にあり地下の掘鑿は公安を害する虞れあるのみならず增して飲料水又は灌漑水の枯渇を來す憂ひがあるを以て公益上支障あると認む

この外平町三ケ村の意見であるので十三日その旨を鑛山局に返報したので結局はこの願は却下されるものと見られてゐる

### 平町人事

▲死亡
平町字仲町三傳之介三女佐藤クニ（二二）
平町白銀町九文造孫菅野敏雄（一）

△出生
平町二町目二一太鼓商小松三造長女サダ（五）

△婚姻
平町南町一五茨城縣多賀郡助川町一五五七小野鐵太郎（六〇）平町南町一五群馬縣多野郡鬼石町鬼石一七四渡邊ムラ（五五）

# 時言

問題の民政黨倶樂部、御注文通り愈々强制競賣の申請が出る

□

火を付けてドサクサ紛れに一ト稼ぎを仕ようと云ふ不埒者は無いか

□

どうせ緣肉の付いた倶樂部の看板だ、喧嘩道具なぞも面白かろう

□

大騷ぎをして平町會けふ開く、泰山鳴動鼠一匹に終るな

□

工事は繰延べても寄附金だけは約束通りに取る方針、縣も虫がよ過ぎる

□

費を小名濱に問ふより濱口さんに聞け、そんな約束を何時しましたか」と

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

六月一日ヨリ
夏物新製品大賣出し
凉味溢るゝ今夏の流行品を各種豐富に揃へて品質に價格に自信ある新安値品
昭和五年流行界の
中形各種陳列
婦人倶樂部ゆかた　表現ゆかた
昭和調婦女界ゆかた　繪羽模樣めかた
リーグ戰ゆかた　外十數種
粹で!!高尙な!!
絽廣帶と單帶陳列　於階上
特賣品
絽錦紗　絽友禪　銘仙
モス友仙　モス着尺　蚊帳
手拭中形六十五錢　ホロかや五十五錢
友仙モスリン一尺九錢
三井呉服店
平町電話　三七五一八番

内科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾
皮膚病　市原三男
平町田町本通
（入院隨時）
市原醫院
電話一一四番

營業種目
内地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負　其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

眼科
吉田病院
平町紺屋町